

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	農業後継者育成事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	優れた農業技術や経営能力を持った若い農業者の育成を図るため、栽培品目や栽培地域ごとに組織された各農業後継者クラブの活動を支援する。				
	30年度 栽培品目や栽培地域ごとに組織された各農業後継者クラブの活動を支援し、優れた農業技術や経営能力を持った若い農業者の育成を図るための助成等を行う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	農業後継者クラブ員
意図（どのような状態にしたいか）	農業後継者クラブ活動を通じて、優れた農業技術や経営能力を持った若い農業者を幅広く育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付団体数	団体		12	12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	農業後継者クラブ主催事業の参加者数	人	目標値		20	15	15	15
			実績値		20	12		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 視察研修会、役員会等を開催し、全ての農業後継者クラブの会員が参加した。 (目標達成度)						(達成度) 80.0%	28点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	3,210	5,728	6,283	6,255
（事業費）	[円]	1,675	1,802	1,731	1,703
（職員人件費）	[円]	1,535	3,926	4,552	4,552

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 先進地視察研修会を実施したが、農作業との関係で出席者が少なかったため、日程調整して参加者を増大させていきたい。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 農業後継者を育成するために重要な事業であるため、必要に応じ、後継者団体を増加させていきたい。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	農業経営対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	農地中間管理事業等を活用して認定農業者や集落営農などの担い手への農地の利用集積・集約化を促進し、優良農地の確保や耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、効率的かつ安定的な農業経営体を育成・確保し、地域農業の持続的な発展を図ることを目的とする。
-------	--

30年度進捗概要	農業経営対策事業費（農用地利用集積計画） 認定農業者育成支援事業費（経営規模拡大支援等） 農業経営基盤強化促進事業費（スーパーJ資金利子補給） 集落営農推進支援事業費（設立支援・経営発展支援） 農業近代化資金利子補給費 環境保全型農業直接支払交付金 農地中間管理事業費（農地機構を通じた農地の貸借の促進）
----------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	----------	---------	-------------------


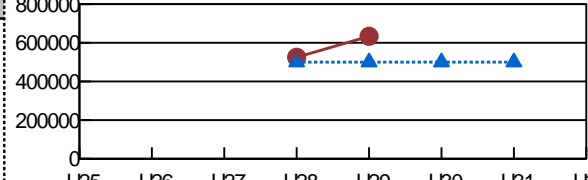
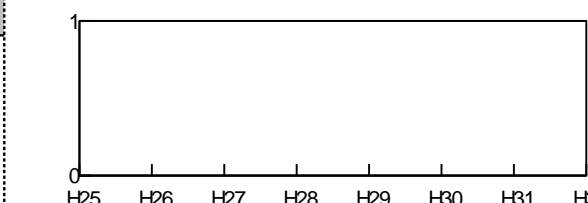
【事業の目的】

対象（何を）	・認定農業者、集落営農などの担い手 ・農用地
意図（どのような状態にしたいか）	認定農業者、集落営農などの担い手に農地を集積し、農用地の有効利用と担い手の経営規模拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農地中間管理事業による利用権設定件数	筆		499	625	500	500

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
農地中間管理事業による農地集積面積	㎡	目標値		500,000	500,000	500,000	500,000
		実績値		525,090	633,475		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 農地集積・集約化対策事業の活用及び農地機構との連携による積極的な事業推進により、目標を達成できた。 	800000						(達成度) 126.7%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	54,741	34,311	41,407	50,561
（事業費）	[円]	42,458	18,609	26,992	36,146
（職員人件費）	[円]	12,283	15,702	14,415	14,415

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

認定農業者・集落営農組織等の担い手の育成と農地中間管理事業の一体的な推進により、農地機構への農地集積・集約化が図られた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

農地機構との連携強化により、引き続き農地の利用集積・集約化を進めるとともに、認定農業者等の担い手の確保・育成を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	遊休農地有効活用事業		事業期間	平成28年度～平成29年度

【事業全体概要】

事業の概要	耕作放棄地を解消するため、国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（平成21～28年度）、荒廃農地等利活用促進交付金（平成29年度～）を活用し、荒廃農地等を引き受けて作物生産を再開する農業者等が行う再生作業、土壌改良、施設整備等を支援する。				
30年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	耕作放棄地（農用地区域内）
意図（どのような状態にしたいか）	国・県の事業を活用して、耕作放棄地の再生利用を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
耕作放棄地の再生利用面積（単年度）	アール		99	0		200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	事業により耕作放棄地を解消した面積（累積）	アール	目標値		1,750	2,000		2,200
			実績値		1,429	1,429		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度については、国・県の事業の組み換えにより、事業要件が変更となったことなどから、補助事業を活用した耕作放棄地の再生利用に取り組むことができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 71.5%
								25点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,459	14,648	3,794	
（事業費）	[円]	85	8,367	0	
（職員人件費）	[円]	5,374	6,281	3,794	

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成29年度から新たに始まった国の荒廃農地等利活用促進交付金の対象となる案件がなく、事業の取組実績はゼロとなった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度以降は、農用地区域での実施に限定されている荒廃農地等利活用促進交付金の活用を促進するため、新たに「優良農地確保対策事業」として、農用地区域の全体見直しの実施と併せて、耕作放棄地の再生利用に取り組む。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	農業団体育成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内の各農業関係機関との緊密な連携の下、地域農業の総合的振興・発展を図るため、農業情勢に対応した農業生産基盤を確立し、本市農業の振興に寄与する。また、農業災害補償法に基づき農業共済事業を行うに当たり、市内を管轄する農業共済組合に対し補助金を交付する。				
30年度概要	高松市内の各農業関係機関との緊密な連携のもと、地域農業の総合的振興・発展を図るため、時代に即応した農業生産基盤の確立を図り、高松市農業の振興に寄与する。また、農業災害補償法に基づき農業共済事業を行うにあたり、農業共済組合に対して補助金を交付する。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	地域農業の総合的振興及び発展を図り、時代に即応した農業生産基盤の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		11	8	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	高松市内の農畜産物販売額（農協取扱分）	億円	目標値		38.2	42	42.5	42.5
			実績値		41.6	41		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 悪天候による野菜・果樹の生産量の減少があったが、ほぼ目標通りに販売額となった。 (目標達成度)						(達成度) 97.6%	
							34点	
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	21,467	23,106	23,415	19,584
（事業費）	[円]	13,790	12,900	12,793	8,962
（職員人件費）	[円]	7,677	10,206	10,622	10,622

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
関係機関と連携し、農業振興を推進した。課題としては、補助金の見直しを実施し、補助金の減額を行ったが、必要以上に減額した場合、農業振興のための活動が停滞する恐れがある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
事業に支障がない範囲で、必要に応じて補助金の見直しを行っていく。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	畜産団体育成事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	畜産団体育成事業は、畜産の振興に必要な諸事項の協議、調査等を行う市畜産振興協議会及び畜産団体の活動経費に対して補助を行う。また、畜産共進会や枝肉共励会を開催し、飼養技術向上を図るなど高松市の畜産振興を図るための事業である。
-------	---

30年度概要	1) 畜産団体育成（高松市畜産振興協議会） 2) 畜産振興指導事業（高松市畜産共進会負担金、高松市肉牛枝肉共励会事業補助金、香川県畜産協会負担金等）
--------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	高松市内の牛豚飼養農家が県と市の共進会に参加し、飼養技術の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
畜産団体の補助金交付件数	件		62	61	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	県畜産共進会出品頭数	頭	目標値		51	60	60	60
	実績値			43	44			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値には届かなかったが、出品頭数は前年度を上回り、概ね達成できた。 (目標達成度)			(達成度) 73.3% 25点				
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)			

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,200	4,280	4,907	4,830
（事業費）	[円]	1,129	1,140	1,113	1,036
（職員人件費）	[円]	3,071	3,140	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

全農家に出品を促す等で共励会、共進会への出品頭数は増加したが、飼養農家の高齢化・後継者不足が今後の課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

畜産団体や共励会・共進会開催の助成をすることで、団体の育成のほか飼養技術の向上を図る等、畜産振興の発展に寄与していく。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	土地改良課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	土地改良事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	農業生産基盤の整備を実施することにより、農業生産性の向上と農業の健全な発展を図り、更には農村地域の環境整備を通じ市民生活の向上を図るため、各種土地改良事業を実施する土地改良区等に事業費用の一部を補助する。				
30年度概要	県営土地改良事業補助金 県営土地改良事業地元負担金等 団体営土地改良事業補助金 単独県費補助土地改良事業補助金 単独市費土地改良事業補助金等				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理		

【事業の目的】

対象(何を)	土地改良事業を実施しようとする土地改良区等
意図(どのような状態にしたいか)	農業生産の基盤の整備を図り、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付団体数	団体		39	39	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	補助金交付件数	件	目標値		450	450	450	450
			実績値		395	441		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 土地改良事業施工箇所数が多ければ土地改良施設の補修改修工事が順調に行われていることである (目標達成度)						(達成度) 98.0% 34点	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,037,213	959,688	898,056	1,264,483
(事業費)	[円]	948,927	892,954	833,566	1,199,993
(職員人件費)	[円]	88,286	66,734	64,490	64,490

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
土地改良事業を実施することで、農業基盤整備が進み、農業生産性の向上が図れているほか、地域の防災にも関連する事業であることから、継続した事業を実施した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
土地改良事業を実施することで、農業基盤整備が進み、農業生産性の向上が図れているほか、地域の防災にも関連する事業であることから、今後とも事業の継続は必要である。			

平成 30年度（ 29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	その他
	事務事業	水産団体育成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	水産業振興の円滑な推進のため、関係漁業団体に対し助成する。		
30年度概要	関係水産団体への助成		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市内の漁業者
意図(どのような状態にしたいか)	漁業者組織を中心に各種水産振興施策を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
助成団体数	団体		7	6	6	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松市内の漁獲量	t	目標値		3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値		3,042	3,040		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 年度により増減はあるが、想定漁獲量が確保できた。 (目標達成度)						(達成度) 77.9% 27点	
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	3,266	4,027	3,605	3,515
(事業費)	[円]	3,266	3,242	2,846	2,756
(職員人件費)	[円]	0	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

本市の水産振興施策の効果的な実施のため、事業継続は必要である。

平成 30年度（ 29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	その他
	事務事業	漁業近代化資金等利子補給事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	漁業者の漁業近代化資金等への利子補給を通じて、漁業施設の近代化を推進する。		
30年度概要	漁業設備投資資金として国が低利の貸付制度を整備し利子補給を行っており、市内の漁業者の経営基盤の強化を目的として高松市も上乗せの利子補給を実施し、経営安定に資する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	市内の漁業者
意図(どのような状態にしたいか)	漁業経営の安定に資する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
資金貸付件数	件		96	97	97	130

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松市内の漁獲量	t	目標値		3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値		3,042	3,040		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 年度により増減はあるが、想定漁獲量が確保できた。 (目標達成度)							(達成度) 77.9%
								27点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,878	2,317	1,881	2,010
(事業費)	[円]	1,878	1,532	1,122	1,251
(職員人件費)	[円]	0	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

当事業は漁業振興の基盤である施設整備の近代化を推進するため、継続する必要がある。
--

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	中山間地域等直接支払事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	中山間地域などの農業生産条件が不利な指定地域の農用地区域を対象として、耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の確保を図るため、集落協定を締結し5年以上農業を継続する農業者に交付金を交付する。				
30年度概要	集落説明会の開催 市推進協議会の開催 集落事業計画の策定・認定 現地確認 活動記録・収支の検査				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	中山間地域等直接支払制度の対象となっている法指定地域及び知事特認地域における一定以上の傾斜を有する農用地区域内の農地
意図（どのような状態にしたいか）	農業生産活動の維持又は農用地の保全管理を通じて、農業の有する多面的機能を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
中山間地域等直接支払交付金交付農家数	件		717	715	720	720

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
中山間地域等直接支払制度取組面積	ha	目標値		293	284	284	284
		実績値		281	281		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 計画的に制度を推進することにより、概ね達成できた。 (目標達成度)						(達成度) 98.9%	
							34点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	58,318	54,619	53,928	54,849
（事業費）	[円]	45,267	43,628	43,306	44,227
（職員人件費）	[円]	13,051	10,991	10,622	10,622

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

当該事業の実施により、中山間地域における農業生産活動が継続され、協定面積を維持できている。引き続き、協定面積の維持又は増加を図り、多面的機能を確保することが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

中山間地域における農地の保全及び多面的機能の確保のため、引き続き中山間地域等直接支払制度に取り組む。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	土地改良課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	土地改良施設管理事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	農業生産基盤の整備促進を図り、農業生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体への負担・補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行う。			
30年度概要	香川用水土地改良区経常賦課金、香川用水事業推進協議会負担金、香川用水事業推進協議会市長会負担金、新川沿岸土地改良区連合補助金、香川用水施設緊急改築事業負担金、新川吉田川沿岸排水対策促進期成会補助金、大井東海岸施設管理費、一宮新池農村公園管理費、農道等管理費			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	


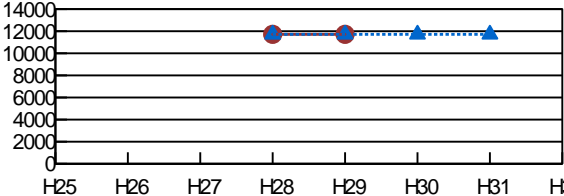

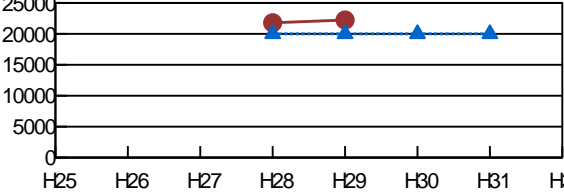
【事業の目的】

対象(何を)	香川用水土地改良区等の各種団体及び一宮新池農村公園等の土地改良施設
意図(どのような状態にしたいか)	各種団体の運営円滑化の支援及び安心して利用できる土地改良施設の維持管理を行う

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
各種団体への負担・補助件数	件		6	6	6	6
施設修繕等件数	件		2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
土地改良区受益面積	ha	目標値		11,717	11,717	11,717	11,800
		実績値		11,717	11,717		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 農業生産性の向上、農業総生産の増大に資するため、継続して土地改良事業関係各団体への負担・補助を行う必要があることから、現在は概ねの達成状況と判断する。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
施設利用者数	人/年	目標値		20,000	20,000	20,000	20,000
		実績値		21,789	22,237		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 既存土地改良施設については、災害時避難指定箇所でもあることから、継続した管理を必要とするが、財源不足により速やかな復旧ができない状況である。 		(目標達成度)					(達成度) 111.2% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	88,463	84,699	81,872	82,646
(事業費)	[円]	52,381	40,733	38,626	39,400
(職員人件費)	[円]	36,082	43,966	43,246	43,246

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
厳しい財政事情を踏まえ、必要に応じて見直ししながら、土地改良施設の維持管理費の経費削減に努めた。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
厳しい財政事情を踏まえ、必要に応じて見直ししながら、土地改良施設の維持管理費の経費削減に努める。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	林道施設整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	宮谷線開設(拡幅)工事	6 0 0 m	
	宮谷線開設分筆登記事務	6 0 0 m	
30年度概要	椋川ダム関連工事 高蒲野・上地線開設工事(新設)	5 5 0 m	
	林道宮谷線開設工事	2 0 m	
林道宮谷線設計委託 林道橋長寿命化点検調査 土木積算システムソフト賃借料			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象(何を)	補助採択又は継続の整備計画予定路線
意図(どのような状態にしたいか)	林業並びに森林の管理運営の活性化及び山間地域の林業者の生活道路としての整備を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
単年度改良延長	m		54.8	34	10	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	整備計画予定路線全体の整備進捗率	%	目標値		64	70	75	50
			実績値		64	66		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 林道宮谷線開設工事及び林道北谷菅沢線改良工事について、すべて計画通り達成した。 (目標達成度)							(達成度) 94.3%
								33点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	6,776	40,120	7,562	10,451
(事業費)	[円]	4,473	36,194	3,768	6,657
(職員人件費)	[円]	2,303	3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

宮谷線開設工事については、継続事業として引き続き完成を目指していく。
椋川ダム関連工事の林道高蒲野線・上地線開設工事については、県の本体工事との関係もあり、現時点で工事開始時期、予算とも確定していない。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

宮谷線は分筆等含め継続。椋川ダム関連林道については、香川県と書書等結び、平成 31年から 32年にかけて整備を行う予定である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	荒廃竹林整備事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市は、昭和48年度から「高松市分収造林条例」に基づき、山林所有者と分収造林契約を締結し、約221haの分収造林地を管理しているが、長期にわたる管理期間の中で当該造林地に竹が侵入し、管理に支障を来している現状である。造林地の管理に係る施策については、事前に施業するエリア（施業地）を調査し、侵入竹の整備を行っている。		
30年度概要	荒廃竹林整備事業 8ha		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	荒廃竹林（分収造林地）
意図（どのような状態にしたいか）	分収造林地内の侵入竹林を整備し、貴重な森林資源を守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
荒廃竹林整備面積	ha		0	5.43	8	8.16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	荒廃竹林において荒廃竹林整備事業を実施した面積の比率	%	目標値		50	50	50	1.4
	実績値			0	68			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、分収造林地において、竹林の侵入が顕著な区域を集約化し、重点的に事業を実施した。 (目標達成度)							(達成度) 136.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,226	3,140	4,212	4,835
（事業費）	[円]	1,620	0	1,177	1,800
（職員人件費）	[円]	4,606	3,140	3,035	3,035

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業の方策、施業手法等を検討し、成果の向上、コストの縮減を図る必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	その他
	事務事業	漁場保全補助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんや有害生物駆除などの漁場整備に県とともに補助を行い、漁業生産性の向上を図る。		
30年度概要	水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市内の漁業者
意図(どのような状態にしたいか)	海底を耕うんすることにより、貝類や底性生物が生息できる環境に改善される。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松市内の漁獲量	t	目標値		3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値		3,042	3,040		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 年変動が大きいが、想定内の漁獲量であった。(目標達成度)							(達成度) 77.9% 27点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,733	6,525	5,463	5,463
(事業費)	[円]	4,733	5,740	4,704	4,704
(職員人件費)	[円]		785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

瀬戸内海のような限られた漁場では、環境保全を行うことで、漁業資源の安定化が図られるため、継続は必要である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	その他
	事務事業	海浜清掃補助事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市内の漁港及び海浜において、漁業者による海浜清掃事業経費の一部を助成することにより、漁場環境の保全を図る。		
30年度概要	市内の漁業者による海浜清掃事業の実施		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	清掃を実施する港湾・漁港
意図(どのような状態にしたいか)	漁業者による市内の漁港及び海浜の清掃を実施し、漁場環境の保全を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
回収ゴミ量	トン	目標値		60	60	60	60
		実績値		64	65		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 年により変動があるが、想定内のごみ処理量となった。 (目標達成度)							(達成度) 108.3% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,464	3,307	3,308	3,309
(事業費)	[円]	2,464	2,522	2,549	2,550
(職員人件費)	[円]	0	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

漁場はもとより瀬戸内海の環境保全維持のためには、継続して実施する必要がある。
--

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	森林団体育成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	山間地域の活性化と、林業並びに森林の管理経営の活性化を図るとともに、森林組合等へ助成し、森林の適切な維持管理と人材の育成を図る。 また、森林関係補助事業などの国等への要望・森林林産業の陳情活動及び啓蒙活動を行い林業発展に寄与する。		
30年度概要	林業及び森林の経営活性化を図るとともに、森林組合等へ助成することにより、森林の適正な維持管理と人材の育成を図る		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	香川東部森林組合・塩江町森林組合 香川県木材需要拡大協議会 香川県森林協会
意図(どのような状態にしたいか)	2 森林組合においては、経営の安定化に寄与する。 木材需要拡大協議会においては、県産材の利用推進活動に寄与する。 県森林協会においては、協同して治山事業、林道事業、造林事業の促進に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件		5	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	木材の出荷数	m ³	目標値		300	350	400	500
			実績値		996.9	1,000		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 県産木材への需要の高まりに応え、木材の出荷数が伸びている。 (目標達成度)							(達成度) 285.7%
								35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,413	7,774	4,447	4,510
(事業費)	[円]	3,645	6,989	3,688	3,751
(職員人件費)	[円]	768	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

森林組合等への補助を継続することにより、林業の担い手の育成を図る。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産体制の整備		事業実施主体	市
	事務事業	人・農地プラン推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域における人と農地の問題を解決するための未来の設計図となる「人・農地プラン」の作成・見直しを推進するとともに、農業次世代投資資金（青年就農給付金）等の制度を活用し、地域の中心となる経営体の確保や農地集積に必要な取組を支援し、持続可能な力強い農業構造の実現を図る。				
概要	30年度 人・農地プランの推進 農業次世代投資資金（青年就農給付金）の交付				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業者数
意図（どのような状態にしたいか）	人・農地プランの作成を推進し、制度への積極的な参画を促すとともに、関連制度を有効活用し、効率的・安定的な農地集積及び担い手の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
青年就農給付金交付農家数	人		34	35	34	34

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	地区「人・農地プラン」数	件	目標値		32	32	32	32
			実績値		32	32		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 「人・農地プラン」の作成数について、制度の推進を行った結果、計画どおり達成した。 (目標達成度)			(達成度) 100.0% 35点				
	成果指標名（どのような成果が得られたか） 人・農地プランへの参画者数	人	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 人・農地プランへの参画者数について、制度の推進を行った結果、目標どおり達成した。 (目標達成度)			(達成度) 100.5% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	60,805	53,905	50,969	63,087
（事業費）	[円]	51,593	46,839	43,382	55,500
（職員人件費）	[円]	9,212	7,066	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 農業次世代人材投資事業については、制度が複雑で、かつ、事務作業料が多く、対応に苦慮している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 新規就農者への指導など、事業を推進していくためには、専従者の配置、人員増などで対応していく必要がある。			